

目の不自由な人たちに対してのサポートの仕方

かるがもの会 ホームページ作成班

このページには、

「目の見えない人（全盲）／
見えにくい人（弱視）＝ 視覚障害者」
に対しての

『サポート（手引き）方法』

について、会員の方々とホームページ作成班が、自らの実体験を元に

「視覚障害者に対しての理解を深めてもらいたい」

と考え、作成させていただきましたので、ご一読いただければ幸いです。

※ ※ お願い ※ ※

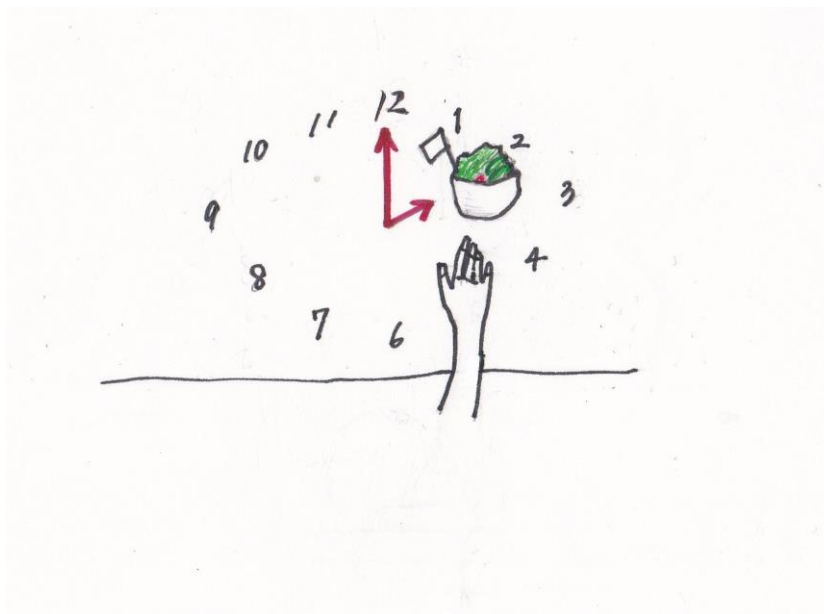
以下のサポートの仕方を知らない視覚障害者の方もいます。
その場合は、教えてあげてください。

● 手助けの一例

◎ 周囲の環境を伝える手助け

- ・ 周辺環境、会場の正面位置や大きさ、人々の人数や様子など、具体的な説明は、可能な範囲で大丈夫。
- ・ 特に講演会など、部屋のどの位置に話し手がいるのか簡単に教えてください。
- ・ 近くにある物は「クロックポジション」といって、「3時＝右」「12時＝上（または「奥」）」というように“時計の文字盤”を思い浮かべながら説明していただけると、置かれている物の位置関係を頭でイメージすることができます。

【クロックポジションとは…？】



クロックポジションについて詳しくは以下をご覧ください。

視覚障害者をどうサポートする？ | 全国ユニバーサルサービス連絡協議会

<http://universalservice.jp/howtoud/sikaku/>

◎ 読み書きの手助け

- ・ 本人の依頼に答えて、代筆、代読してください。
- ・ 単独でパソコンや携帯などを用いて読み書きできる人へは、誤字やレイアウトなどの確認をしてください。
- ・ 書類の代筆をする際、書類の名称を伝えてください
(書類の先頭に書いてある名前(「〇〇申請書」「△△願い」等))
- ・ 個人情報や代筆する場合、各情報を転記する際には「お名前を書きます」「住所を書きます」等を伝えてください。
- ・ 記入用紙に但し書きや説明などがある際は、代読もお願いします。

◎ 移動、歩行の手助け (ガイドヘルプ)

基本姿勢での誘導：

- ・ 視覚障害者はガイド者の自然にたらしめた肘の上を持って歩きます。
ガイドしてくださる方は、本人から申し出があった箇所(上腕や肩等)を持た

せていただくと安心して歩くことができます。

その際、ガイドしてくださる方も正面を向いて歩いてください。

- ・ 座席（椅子・机）への誘導：

視覚障害者の手を背もたれや机に触れさせ位置を確認できれば、自分で座れます。

- ・ エスカレーターでの昇降の誘導：

エスカレーターが昇りか降りかを説明し、視覚障害者の手を手すりに触れさせれば、自分で白杖を一段前のステップに乗せ降り位置を確認できます。

- ・ 電車の隙間や溝をまたぐ際の誘導：

隙間や溝の前で止まり、白杖で溝の幅を視覚障害者に確認してもらい、声をかけて一緒にまたぎます。

- ・ トイレへの誘導：

ガイド社が同性の場合は、便座やトイレットペーパー、流すボタン（またはレバー等）の位置を教えてください。

異性の場合は、多目的トイレを利用するか、同性の方に誘導を依頼してください。

- ・ 車の乗車口への誘導：

視覚障害者の手を車のドアに触れさせれば、自分でドアを開け、シートの位置や

車の屋根を確認し、乗ることができます。

* この他にも、

- ・ 狭い場所（一人しか通れない場所など）での誘導：
- ・ 段差（階段）昇降の誘導：

など、いろんな場所・シーンでの誘導方法があります。

詳しくは以下をご覧ください。

視覚に障害がある人のサポート - 神奈川県ホームページ

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f5075/p15105.html>

以下のサイトには、バリアフリーの標語や視覚障害者の他に聴覚障害、肢体不自由、内部障害などの方へのサポートの仕方が記載されています。

ご興味のある方はご覧ください。

今、街かどで ～身体の不自由な人たちとのふれあい～
- 神奈川県ホームページ

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f5075/>

↓のYouTubeでは、
補助犬（盲導犬・聴導犬・介助犬）たちの仕事の様子や、
それぞれの障害者が困る事を動画で紹介されていますので、
よろしければご覧ください。

NPO 法人 日本補助犬情報センター

「補助犬ができること、あなたにできること」

<https://www.youtube.com/watch?v=lamV4GTjVNk&feature=youtu.be>